



介護の人材不足、介護職への市独自支援の道が開く

介護職の確保のために、東京都は処遇改善の補助を行っています。さいたま市でも同様の独自補助を早急に実施すべきと求めました。

市は答弁で「さいたま市独自の支援策について、検討を進めていく」と答弁しました。早ければ、来年度から実施が見込まれます。

上大久保 埼大前

ホンダ「スマートホームシステム実証実験」跡地に公園をつくる

上大久保の埼大通り沿いの「スマートホームシステム」の実証実験跡地に、子どもから高齢者、障がい者もくつろげて、楽しめるような公園整備を求めたところ、市も前向きな答弁をしました。これからが楽しみです。



JR環境空間、緑地化実現

中浦和駅の北側の環境空間は、雑草が生い茂り、JRが除草剤を使用していることから、近隣住民から不安の声が届いていました。緑地化を進めて、住民からの要望である「貸し農園」の整備を求めました。

市は、「令和8年度以降に順次実施設計、整備する予定。貸し農園については日陰になる問題があるが、戸田市では実績があるので、調査する」と答弁しました。



進め! 水害対策

新開地域に排水ポンプの増設を検討

台風19号で、深刻な被害が出た、桜区新開、桜田地域。油面川流域においては、油面川排水機場ができ、対策が講じられたところです。一方、鴻沼川流域については、



桜田地域の排水ポンプの増設が決まっています。「新開地域においても、県と協議をして、排水ポンプの増設を」と求めたところ、市も「検討する」と答弁しました。

手話言語条例制定

超党派による「政策条例制定に関するプロジェクト会議(PT)」で、手話言語条例が制定されました。私もメンバーのひとりとして、条例制定に力を尽くしました。

初めて条例制定を求める一般質問をしたのは、2015年。苦節10年、ようやく条例が制定され、しかも、議員立法という形で実を結べたことはとても感慨深いです。

今後、必要に応じて条例を見直し、手話を必要とする全ての方々に喜ばれる条例にしていければと思います。



議会報告 2025年6月議会

日本共産党さいたま市議会議員

久保みき



Instagram



日本共産党さいたま市議団

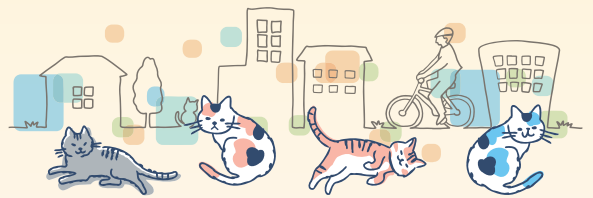
さいたま市浦和区常盤6-4-4 (さいたま市議会内)
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165

さいたま市桜区道場3-15-20



深刻な地域猫の問題

飼い主のいない猫への不妊手術、 どうぶつ基金の無料チケット配布が実現



さいたま市は、2022年に動物愛護ふれあいセンターがどうぶつ基金の登録をされていて、多頭飼育崩壊に活用しています。行政枠で登録している他市では、TNRを行う市民に無料チケットを配布しています。さいたま市でも無料チケットを市民に配布することを昨年12月議会で求めたところ、今年3月から配布を始めました。

今、1団体がTNRで活用をしています。さいたま市動物愛護ふれあいセンターのホームページに掲載されているので、活用希望の方はお問い合わせください。（活用にあたっては、さまざま条件があります）

あわせて、センターでの無料手術の提案をしました。川崎市では、センターの獣医師が飼い主のいない猫の不妊手術を実施しています。さいたま市の動物愛護ふれあいセンターにも当然、獣医師がいます。手術室もあります。やろうと思えばすぐにできます。さいたま市もセンターでの無料手術に踏み切るべきと求めたところ、市は「現在の獣医師の業務内容を考えると難しいが、川崎市を含め、他市がどのように対応しているのか、事例を調査する」と答弁しました。



学校のうさぎ飼育は廃止すべき

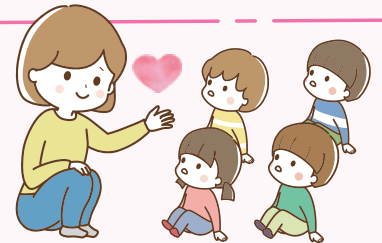
今、全国的にうさぎ飼育を廃止するながれです。背景には、屋外飼育には向いていないうさぎにとって、学校は不適切な環境であることがあげられます。学校におけるうさぎの飼育廃止を求めるネット署名には約5万人が賛同しています。生き物の世話は、24時間、365日です。学校では到底無理です。

さいたま市も学校でのうさぎ飼育をやめていくべきと主張しましたが、市は「大切に育てている子どもたちの心情を考えると、今後も飼育を継続することが適当である」と答弁しました。

「いのちの授業」を提案

「いのちの授業」とは、私たち人間と動物とのかかわりを教え、動物も私たちと同じように生きていて、感情や要求があることを認識し、動物がよりよく生きるために私たちがどのような責任を負い、果たすべきなのかを考える授業です。

授業をする際には、動物の負担を考え、実際の動物ではなく張り子の動物等を使って子どもたちに考えさせ、答えを導き出していく手法が主流となっています。さいたま市でも、ぜひ、「いのちの授業」を実施するべきと求めました。市も「外部機関と連携した出前講座について、学校が選択できるよう、周知の仕方について検討する」と約束しました。



住みよい桜区へ 住民から要望を受け実現



鴻沼川 階段手すり



栄和小学校前



桜堤通りのベンチ